

法学概論Ⅱ

科目ナンバリング FUL-102
選択 2単位

呉 柏蒼

1. 授業の概要(ねらい)

法は、社会生活では必ず存在する大切なものですが、それを学ぶことは難しい、というイメージが否めません。法学に精通するためには大層な努力が必要ではありますが、実は、気楽に学べば、どなたもその面白さに気がつくはずです。この講義は、できるだけ法学の基礎を簡単に説明し、法を学ぶパートナーとして、社会生活にある様々なことについて、ディスカッションなどを通して法的視点で一緒に考えていきます。

2. 授業の到達目標

法の基礎概念を把握しつつ、法的視点から考える能力を身につけてもらいます。

3. 成績評価の方法および基準

学期に1回程度、レポートを提出してもらいます。定期試験の成績(80%)と授業への積極性を中心とした平常点(20%)を基本にして、レポートの内容を加点要素として総合で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特に指定しません。授業中、適宜レジュメを配布します。

参考文献

霞信彦〔編〕 法学概論 慶應義塾大学出版会

5. 準備学修の内容

講義内容は前後で関連する部分もありますので、ノートやレジュメを復習することで、その後の授業の理解に役立つでしょう。

6. その他履修上の注意事項

形式を問わず六法を持参してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 刑法の意義
- 【第3回】 犯罪の成立
- 【第4回】 犯罪の追及
- 【第5回】 犯罪と刑罰
- 【第6回】 国民の司法参加と裁判員制度
- 【第7回】 犯罪被害者について考えましょう
- 【第8回】 冤罪について考えましょう
- 【第9回】 中間まとめ・ディスカッション
- 【第10回】 少年法
- 【第11回】 高齢社会と法
- 【第12回】 情報化社会と法
- 【第13回】 グローバル社会と法
- 【第14回】 環境・健康と法
- 【第15回】 まとめ